



角野栄子さん

国際アンデルセン賞受賞



おめでとうございます！

国際アンデルセン賞は、1956年から続く国際的な児童文学賞です。「児童文学への永続的な寄与」に対する表彰として贈られ、高い選考水準から「小さなノーベル文学賞」ともいわれています。賞の名称はデンマークの有名な児童文学者アンデルセンにちなみます。2年に一度、作家賞と画家賞の各1名が選出されます。これまでの受賞者は、「長靴下のピッピ」（リンドグレーン）、「飛ぶ教室」（ケストナー）、「ムーミン」（トーベ・ヤンソン）などがあり、日本人では、画家賞を1980年に赤羽末吉（あかばすえきち）さん、1984年に安野光雅（あんのみつまさ）さん、作家賞を1994年にまど・みちおさん、2014年に上橋菜穂子（うえはしなほこ）さんがそれぞれ受賞しています。



江戸川区立図書館